

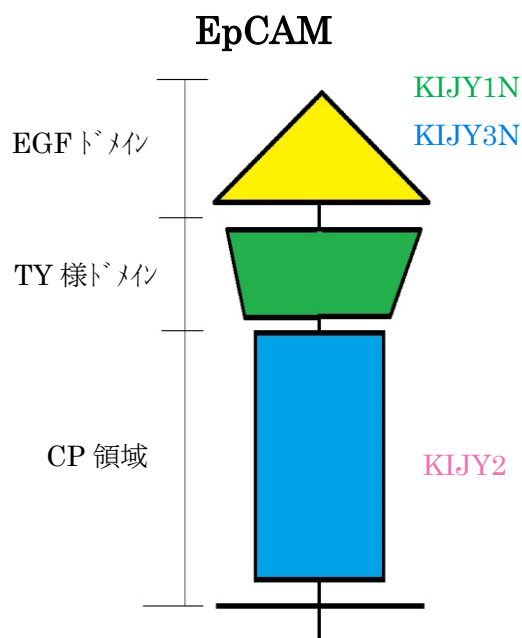
■ 抗ヒト EpCAM モノクローナル抗体 ■

● EpCAM とは

EpCAM(CD326)は細胞接着や細胞増殖、腫瘍の進行に関与する膜貫通糖タンパク質で、上皮がんで高発現するため、上皮癌由来のがんの診断および予後のマーカーとして使われています。

特に近年、血液中の固型腫瘍由来の循環腫瘍細胞 (CTC) の数と転移乳がん、前立腺がん、大腸がん患者の予後の相関が見いだされ、CTC に EpCAM が発現していることから、血中の CTC 測定等で利用されています。

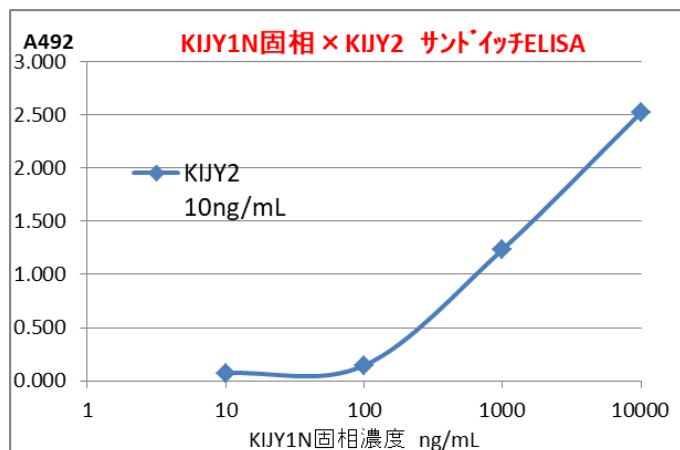
● 特徴

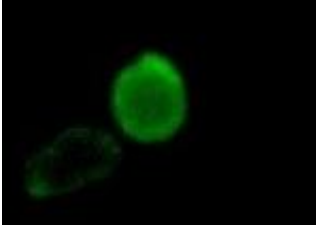

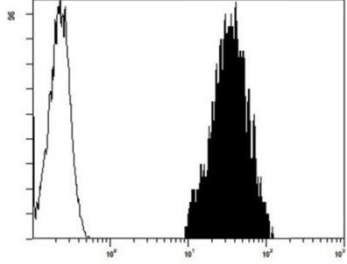
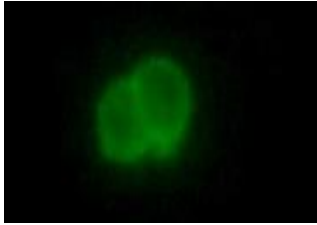

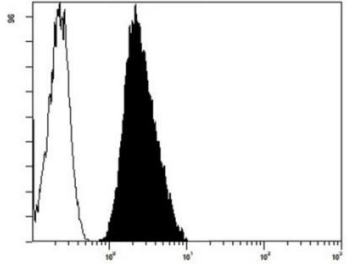
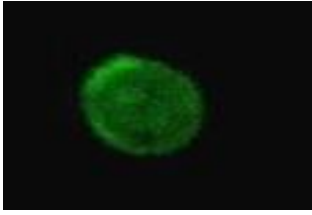

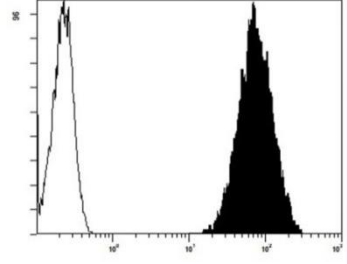


膜貫通糖タンパクであるEpCAMは細胞外部分としてN末端EGFドメイン、TY様ドメイン及び1回膜貫通ヘリックスに近接した未同定のシステイン(cysteine-poor;CP)領域の3つのパーツにより構成されています。弊社の抗ヒトEpCAMモノクローナル抗体は東北大学加齢医学研究所の高尾雅先生が作製した抗体(文献1,2)で、EGF用ドメインを認識する抗体(KIJY1、KIJY3N)とCP領域認識抗体(KIJY2)があり、これらを組み合わせることで**サンドイッチELISA**を行うことができます。

- ・文献1 MONOCLONAL ANTIBODIES IN IMMUNODIAGNOSIS AND IMMUNOTHERAPY Volume 32, Number 2, 2013 Masashi Takao, Yutaka Nagai, and Tokiji Torii
- ・文献2 特許出願公開番号 2014-105159

【サンドイッチELISA 組み合わせ】



品番	製品名	サブクラス	溶媒	包装
0923-1	抗ヒト EpCAM モノクローナル抗体 KIJY1N	IgG1	リン酸バッファー	200 μ g
		免疫動物 Mouse 免疫原 EpCAM 発現細胞 交差性 Human 適用 ELISA, Immunofluorescence, Flow cytometry		
	IF (FITC 又は Hilyte Fluor 647 標識した抗体で MCF7 を染色)			FCM
				
0923-2	抗ヒト EpCAM モノクローナル抗体 KIJY2	IgM	クエン酸バッファー	200 μ g
		免疫動物 Mouse 免疫原 EpCAM 発現細胞 交差性 Human 適用 ELISA, Immunofluorescence, Flow cytometry		
	IF (FITC 又は Hilyte Fluor 647 標識した抗体で MCF7 を染色)			FCM
				
0923-3	抗ヒト EpCAM モノクローナル抗体 KIJY3N	IgG2a	リン酸バッファー	200 μ g
		免疫動物 Mouse 免疫原 EpCAM 発現細胞 交差性 Human 適用 ELISA, Immunofluorescence, Flow cytometry		
	IF (FITC 又は Hilyte Fluor 647 標識した抗体で MCF7 を染色)			FCM
				



日本光電グループ

株式会社日本バイオテスト研究所

埼玉県朝霞市泉水 1-8-11 〒351-0024

Tel: 050-3816-7056 (代表) Fax: 050-3816-7863

<http://www.nbiotest.co.jp/>